

# 枚方製造所

## 1. 事業概要

<b>住所</b>	〒573-8573 大阪府枚方市中宮大池 1丁目1番1号
<b>従業員数</b>	1,488名 (H27(2015).4.1現在)
<b>敷地面積</b>	326,880 m <sup>2</sup> (99,055坪)
<b>事業内容</b>	素形材事業部門 : 研究開発／技術設計／製造 ポンプ事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事 バルブ事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事 建設機械事業部門 : 製造／営業 マテリアルセンター : 研究開発



## 主要製品

 MERT	 ハイリフト型先行待機ポンプ	 バタフライバルブ	 ミニバックホー
--	---	---	---

## 工場変遷(沿革)

昭和37年 (1962)	ポンプ部門を枚方へ移転(枚方機械工場操業開始) 鋳鋼(素形材)部門を枚方へ移転(枚方鋳鋼工場操業開始)
昭和39年 (1964)	武庫川機械工場から枚方に総合機械工場を建設移転 バルブ部門を枚方機械工場へ移転
昭和47年 (1972)	枚方機械工場を枚方機械製造所に改称
昭和49年 (1974)	小型油圧ショベル製造開始
昭和54年 (1979)	大型ポンプ・建設機械専用工場完成
昭和56年 (1981)	ソフトシール仕切弁の製造開始
昭和59年 (1984)	枚方機械製造所・枚方鋳鋼工場・ハウス工場を統合し、枚方製造所となる
昭和61年 (1986)	ハウス部門を別会社化し、機械部門・鋳鋼部門の構成となる
平成 7年 (1995)	新素材開発部を枚方製造所に移転
平成11年 (1999)	ISO14001認証取得
平成16年 (2004)	リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 会長賞
平成17年 (2005)	ISO14001(2004年度版)へ移行 エネルギー管理優良工場(熱部門) 近畿経済産業局長表彰
平成19年 (2007)	ISO14001とOHSAS18001 マニュアル統合(OHSAS認証取得に伴う)
平成25年 (2013)	マテリアルセンターを枚方製造所に設置

## 枚方製造所

### 2.環境方針

#### ISO環境方針

##### 基本理念

「優れた製品・技術・サービスを通じ、豊かで安定的な食料の生産、安心な水の供給と再生、快適な生活環境の創造に貢献し、地球と人の未来を支え続けます。」というミッションー私たちの使命ーに基づき、当製造所は環境保全と経済発展の調和をめざすと共に、「先ずは安全、何より安全！」の認識の下、災害及び疾病の未然防止に取り組みます。

##### 基本方針

1. 環境と労働安全衛生の統合マネジメントシステムを構築し、継続的改善に努めると共に、関連の法規制並びに当製造所が同意する協定等を遵守致します。
2. 製造所の製品、事業活動、及びそれらに関係するサービスの各段階における環境負荷の改善と環境汚染の予防に取り組みます。
3. 当製造所の経済活動と環境課題を並立させるテーマの計画的改善活動に努めます。
4. 危険有害要因の特定・評価に基づくリスク除去・低減対策を計画的に進め、すべての従業員並びに関係者の災害や疾病の未然防止に取り組みます。
5. 製造所の全域で快適な職場環境づくりをめざすと共に、全従業員の心身の健康づくりを推進します。
6. すべての従業員が環境・安全衛生に高い意識を持ち、自ら社会的責任を果たせるよう、継続的な教育訓練や啓発活動に努めます。
7. 地域社会、公的機関、お客様、従業員の家族などの利害関係者らと常に良好なコミュニケーションを維持します。

—— この方針は社内外に開示します ——

制 定 1999年 3月15日  
見直し 2014年 5月 1日

株式会社クボタ 枚方製造所  
製造所長 立石 安壽生

#### ISO14001認証取得状況

認証取得年月日:1999年9月17日  
2004年度版更新年月日:2006年4月12日  
審査登録機関:LRQA

# 枚方製造所

## 3.環境保全中期計画 目標及び実績

課題	取り込み項目	管理指標	基準年度	目標 2015年度 <sup>※4</sup>	2014年度	
					実績 <sup>※4</sup>	自己評価 <sup>※5</sup>
地球温暖化の防止	CO2の削減	CO2排出原単位 <sup>※2</sup>	2008	▲ 14%	▲ 42.2%	◎
	省エネルギー	エネルギー使用原単位	2008	▲ 14%	▲ 43.7%	◎
循環型社会の形成	廃棄物の削減	廃棄物排出原単位	2008	▲ 14%	▲ 51.3%	◎
		再資源化率 <sup>※3</sup>	-	99.5%以上	100.0%	○
	水資源の節約	水使用原単位	2008	▲ 21%	▲ 42.7%	◎
化学物質の管理	VOC <sup>※1</sup> の削減	VOC排出原単位	2008	▲ 21%	▲ 64.9%	◎

※1 VOC(揮発性有機化合物)は、排出量に占める割合が大きい、キシレン、トルエン、エチルベンゼン、スチレン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼンの6物質を対象としています。

※2 CO2排出量には非エネルギー起源の温室効果ガスを含みます。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は基準年度の値を使用します。

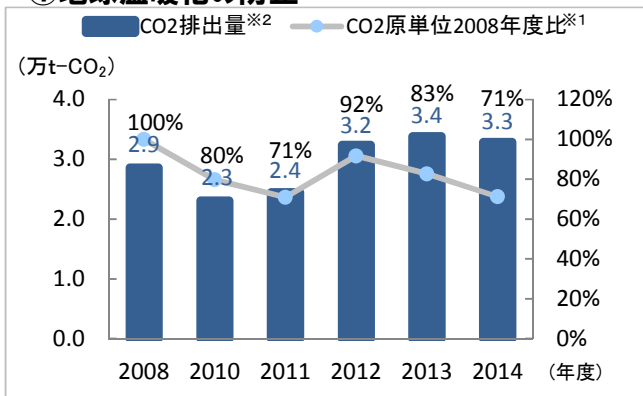
※3 再資源化率(%) = (有価物売却量+社外再資源化量) ÷ (有価物売却量+社外再資源化量+埋立量) × 100  
社外再資源化量には熱回収量を含みます。

※4 ▲は「マイナス」を意味します。

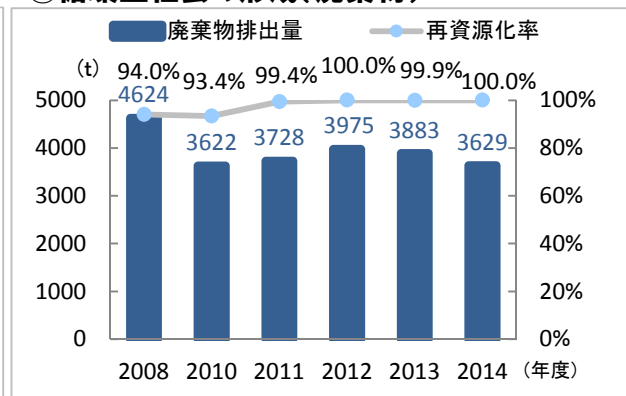
※5 自己評価の基準 ◎目標超過達成(目標を20%以上超過している場合) ○目標達成 △現状では未達成

## 4.環境パフォーマンス

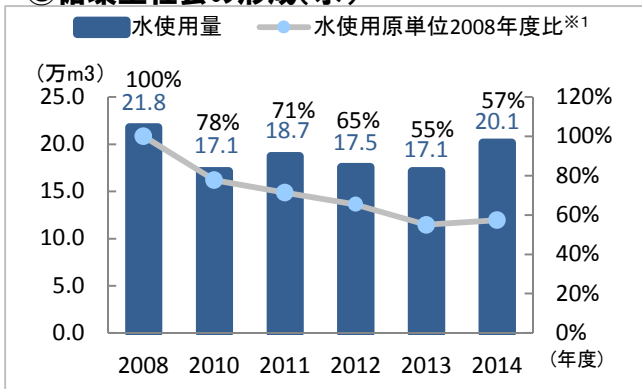
### ①地球温暖化の防止



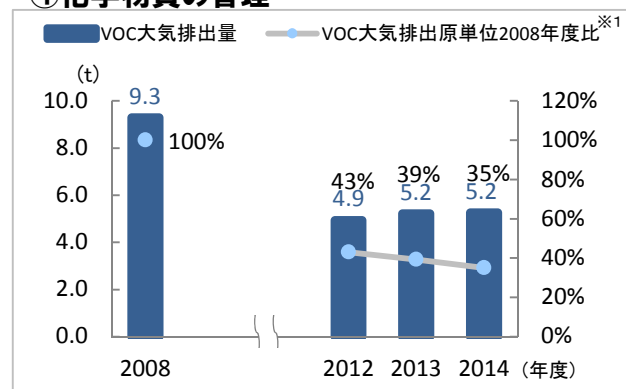
### ②循環型社会の形成(廃棄物)



### ③循環型社会の形成(水)



### ④化学物質の管理



※1 原単位2008年度比:2008年度の生産金額ベースの原単位を100とした場合の割合

※2 CO2排出量はエネルギー起源のCO2排出量です。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

# 枚方製造所

## 4.環境パフォーマンス(つづき)

### PRTR法対象物質の排出量・移動量の削減(2014年度)

単位：k g / 年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	1,546	0.0	0.0	0.0	0.0	17,332
80	キシレン	2,480	0.0	0.0	0.0	0.0	27,444
87	クロム及び3価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,958
132	コバルト及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	199	0.0	0.0	0.0	0.0	2,233
300	トルエン	1,446	0.0	0.0	0.0	0.0	15,849
308	ニッケル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16
412	マンガン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,781
453	モリブデン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 5.環境トピックス

### 炉体耐火物の材質変更による環境リスクの低減

従来の耐火レンガは、寿命は長いですが、使用していく間に「六価クロム」が表面に現れる為、更新時に中和処理が必要となり、不要レンガのリサイクル時に環境リスクが伴っていた。

そこで六価クロムが出ない材質の耐火レンガの使用を検討し、表面の処理方法や補修方法を試行錯誤して、従来には及ばないが長寿命化を図ることができ、使用を開始した。

この結果、耐火レンガ更新時も六価クロムが出ない不要レンガとしてリサイクルすることが可能となり、環境リスクの低減を図ることが出来た。

従来の耐火レンガ (六価クロムが発生) → 材質変更後の耐火レンガ (六価クロムが発生しない)

## 6.環境コミュニケーション

### 地域美化活動

2014年 6月 他4回	製造所周辺清掃活動	288人
2014年 8月 1日	「クールダウンひらかた打ち水大作戦」	5人
2015年 11月 15日	クボタeデー及び地域クボタ会ボランティア&ウォー	573人



クボタeデー



打ち水大作戦

## 枚方製造所

## 7. サイトデータ

## INPUT

エネルギー使用量	原油換算 kL	15,997
水使用量	万m <sup>3</sup>	20.1

## OUTPUT

CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	32,832
---------------------	-------------------	--------

項目	単位	No.3焼鈍炉			機械吹付塗装脱臭装置			No.3吸収式冷暖房機			
		規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値	
排出ガス	SO <sub>x</sub>	総量規制・K値規制ともm <sup>3</sup> N/h	※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用		
	NO <sub>x</sub>	総量規制:m <sup>3</sup> N/h	総量規制	1.19	0.053	総量規制	1.305	0.072	総量規制	0.082	0.009
		濃度規制:ppm	濃度規制	180	35	濃度規制	230	22	濃度規制	150	29
	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	濃度規制	0.1	0.005	濃度規制	0.1	0.005	濃度規制	0.05	測定なし

排水量	公共用水域 万m <sup>3</sup>	25.9
	下水道 万m <sup>3</sup>	-
汚濁負荷量	COD kg/年	782
	窒素 kg/年	857
	りん kg/年	92

※排水量には雨水が含まれています。

放流先	項目	単位	B排水口	
			規制値	測定値
公共用水域	pH	最小値, 最大値	5.8~8.6	6.8, 7.6
	BOD	mg/l	25	11
	COD	mg/l	25	8.5
	窒素	mg/l	120	4.2
	りん	mg/l	16	0.8
	六価クロム	mg/l	0.05	不検出
	鉛	mg/l	0.01	不検出
	COD総量規制	kg/日	37.95	2.61
	窒素総量規制	kg/日	38.30	3.52
	りん総量規制	kg/日	4.41	0.33
下水道	pH	最小値, 最大値	-	-
	BOD	mg/l	-	-
	COD	mg/l	-	-
	SS	mg/l	-	-

廃棄物排出量	t	3,629
再資源化率	%	100.0%